

# 海軍公報

第二千五百五十七號

昭和九年五月一日(火)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第一九五七號

昭和九年度ニ於ケル造船造兵事業ニ従事スル職工ノ平均賃錢ヲ左ノ通定ム

昭和九年五月一日

海軍大臣

男工	(見習工ヲ除ク)	女工
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇

備考

前表ニ依リ難キトキハ昭和九年五月一日現在平均賃錢ニ海軍工務規則第四十七條第二項ニ依リ承認ヲ得タル金額ヲ加ヘタル額迄増加スルコトヲ得

## ○通牒

官房第一九五八號

昭和九年五月一日

海軍諸例  
則登載

海軍次官

關係所屬長官殿

青年訓練ノ振興ニ關スル件申進

青年ノ心身ヲ鍛練シテ國民タルノ資質ヲ向上セシムベキ青年訓練所令所定ノ目的ヲ遂ゲ兼テ海國民トシテ必要ナル海軍及海軍ニ關スル常識ヲ附與スル爲概ネ左記方針ニ據リ青年訓練ノ振興ニ寄與スルコトニ定メラレ候ニ付テハ右方針ニ準據シ關係各部相協力シテ其ノ振興ニ努メラルル様致度依命

記

- 一、青年訓練所主事及指導員ノ教育講習ハ支障無キ範圍ニ於テ各鎮守府、要港部及艦隊等ニ於テ適時之ヲ行フコト
- 二、青年訓練所生徒ニ對スル教育資料ノ配付、海軍各部ノ見學及講演等ハ努メテ其ノ要望ニ應ズルコト

海軍公報 第二千五百五十七號

昭和九年五月一日

四一七

1974

0478

三、海軍各廳ニ於ケル青年訓練ハ左ノ通取扱フモノトス

(一) 工作廳及燃料廠ニ於テハ大正十五年官房第二五四六號訓令ノ趣旨ニ基キ青年職工ノ訓練ヲ振興ス

(二) 各廳ニ於ケル青年職工以外ノ勤務員ニシテ青年訓練ヲ受クベキ者ニ對シテハ特ニ訓練所ヲ設立セズ勤務員在在地ノ公立青年訓練所ニ入所出席ヲ督勵ス

四、青年訓練以外ノ各種青少年教育教化ニ對シテモ概ネ右方針ニ準據スルコト

○ 辭 令

○昭和九年五月一日

廣近 久人  
高松 政信  
岡村 一男  
森島 昌之  
横山 鐵男  
和田 正之  
笠井 偕平

(各通)

中谷 是  
中村 了  
野村 四郎  
蒲池 新平  
千住 巖  
井上 操  
中岡 清徳  
湊 通次  
中野 寛市  
江崎 秀春  
福田 武二  
仲本 治郎  
川口 孝義  
徳久 正  
小林 正夫  
對尾 熊之助  
黒 義武  
都外川 清隆  
馬場 高  
高原 一福  
坂本 清

1975 0470

但シ報酬年額千貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(海軍省)

○雜款

○旗艦變更  
佐世保警備戰隊司令官ハ去月三十日旗艦ヲ一時龍田ヨリ足柄ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更  
第三十驅逐隊司令ハ去月十九日司令驅逐艦ヲ卯月ヨリ睦月ニ變更セリ

○軍艦比叡行動豫定

地名	着	發
横須賀	五月十日	五月十日
芝浦	五月十六日	五月十六日
横濱	五月十九日	五月十九日
清水	五月二十五日	五月二十五日
横須賀	五月二十五日	五月二十五日

○軍艦伊勢行動豫定

地名	着	發
横須賀	五月十七日	五月十六日
名古屋	五月十七日	五月十九日

任海軍豫備一等兵曹

掛端 武雄  
吉岡 武志  
平石 貞藏  
石田 清太郎  
板倉 定義  
崎山 清光  
川畑 博  
石橋 龍雄  
前田 正春  
千葉 勇治  
湯淺 伊之七  
水井 慎二  
豊田 好男  
山田 昭  
北村 春雄  
高橋 義彦  
小堀 正一

(各通)

任海軍豫備一等機關兵曹

藤井 義之

水路部ニ於ケル氣象調査事務ヲ囑託ス

海軍公報 第二千五百五十七號 昭和九年五月一日

津	鳥羽	田邊	和歌浦	大阪	神戸	横須賀
二十九日	二十日	二十三日	二十三日	二十四日	二十八日	三十一日
二十日	二十二日	二十三日	二十四日	二十八日	三十日	

○郵便物發送先

軍艦比叡宛

五月九日迄ニ到達見込ノモノハ

同十五日迄ニ同 横須賀

同十八日迄ニ同 芝浦

同二十四日迄ニ同 横濱

其ノ後ハ 横須賀

追テ芝浦、横濱及清水在泊中ハ陸上假設無線電信所設置ニ付右期間電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

軍艦伊勢宛

五月十五日迄ニ到達見込ノモノハ

同十八日迄ニ同 横須賀

同二十日迄ニ同 名古屋

同二十一日迄ニ同 津屋

同二十三日迄ニ同 和歌浦

同二十七日迄ニ同 大阪

同二十九日迄ニ同 神須賀  
其ノ後ハ 横須賀

○正誤  
去月二十六日辭令欄中海軍技手栗田武ノ上ニ「海軍航空本部造兵監督助手」ヲ脱ス

1977 0491

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月一日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、風翔、八雲、北上、大鯨、比叡、駒橋、八重山、▷木曾、伊勢

▷天霧、朝霧、夕霧、椿

掃二、掃四

富士▲、尻矢、洲崎、膠州、大和、知床

【長浦】

嚴島

▷島風、沙風、夕風、灘風、隴

▷呂五五、呂五四、呂五六、▷伊二三、伊二四

▷掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

【大湊】

▷神風、波風、野風

▷呂五八、呂五七

【函館】

沼風

【大泊】

曙

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、神通、韓崎、▷阿武隈、白鷹、加古

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▷芙蓉、刈萱、朝顔、▷敷波、浦波、綾波、▷東雲、磯波、吹雪、▷吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

【大阪】

常磐

(初雁)、(掃一五)

野島

(伊六八)、(最上)

石廊、攝津、朝日▲、隱戸、襟裳、室戸、

掃一四

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▷掃一三、

掃一四

伊五二、伊五一

伊五三、伊五四、伊五五

伊五九、(伊六)

大井

(掃一六)

霧島、▷扶桑、日向、▷長良、五十鈴、名取、▷川内、▷長鯨、▷赤城、龍驤、▷島海、高雄、愛宕、摩耶、▷青葉、衣笠、古鷹、▷那珂、▷由良、迅鯨

松風、春風、旗風、朝風、▷菊月、望月、三月月、夕月、▷疾風、追風、朝風、夕風、▷陸月、卯月、如月、彌生、▷沖風、矢風、▷電、雷、響、▷曉、狹霧、漣、▷深雪、初雪、白雪、▷白雲、叢雲、薄雲

伊三一、伊二、伊五、伊四、伊五六、

伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、

1978 0492

【細島】

伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六、  
間宮、神威、鳴戸、鶴見

【舞鶴】

吾妻  
夕顔、葵、菊

【佐世保】

夕張、加賀、羽黒、鬼怒、龍田、足柄、  
梨、竹、榎、柳、桃、檜、檜、皐月、  
文月、水無月、長月、子日、初春、  
峯風

呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、  
呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、  
呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、  
呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、  
呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、  
呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、  
呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、  
呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、  
呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、  
呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、  
呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、  
呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、  
呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、  
呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、  
呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、  
呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、  
呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、  
呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

千島、真鶴、友鶴  
敷島、早瀬、佐多、  
(若葉)

【長崎】

那智、妙高、  
馬公、太刀風、秋風、帆風、羽風

【鎮海】

蓬、蓼、蓮、  
旅順、藤、葛、萩、薄

【青島】

天龍

【上海】

出雲、  
董、菱、柿、栗、榆、梅、浦風

【南京】

伏見

【九江】

鳥羽

【漢口】

對馬

【長沙】

岡田

【沙市】

宇治

【宜昌】

熱海、堅田

【重慶】

二見

【馬尾】

球磨

【廣東】

華

【香港】

嵯峨

【作樂地】

能登呂

【航海中】

保津

【勢多】

春日

【安宅】

比良

【淀】

多摩

【淺間】

伊潮

【青島】

勝力

【呂五九】

イユル

1979 0433

(部内限四頁)

# 海軍公報

第二千五百五十八號

海軍大臣官房

昭和九年五月二日(水)

## ○辭令

○昭和九年五月一日

任海軍書記

江添 俊一

給月俸六拾圓

任海軍書記

海軍一等主計兵曹

林 高 義

給八級俸

任海軍技手

馬淵 茂夫

給七級俸

海軍大佐 長井 實養

吳海軍工廠職工教習所教務ヲ囑託ス

宮原 治之

吳海軍工廠職工教習所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(以上三ノ六ノ海軍省)

給三級俸

海軍書記 石塚 胤長

海軍航空本部附ヲ命ス

同 江添 俊一

海軍航海學校附ヲ命ス

同 林 高 義

水路部附ヲ命ス(以上三ノ同)

海軍技手 馬淵 茂夫

技術部勤務ヲ命ス(三ノ海軍航空本部)

海軍技師 長畑 順一郎

主トシテ在大阪首席監督官ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在

海軍技手 石岡 治郎

神戸首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(三ノ同)

主トシテ在大阪首席監督官ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在  
神戸首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(三ノ同)

## ○雜款

○特務艦洲崎行動豫定

地名 着

横須賀 五月二十四日

五月 七日

ホノルル 六月九日

五月 二十八日

桑 港 六月十四日

六月 十二日

羅 府 六月十四日

六月 十八日

ホノルル 七月二十三日

七月 三日

横須賀 七月二十二日

七月 三日

海軍公報 第二千五百五十八號 昭和九年五月二日

四二三

1980 0484

○試驗問題發送

第三十二期高等科經理術練習生、第五十五期普通科經理術練習生、第二十七期掌厨術練習生採用試驗問題去月二十八日發送済

(聯合試驗施行豫定各部ハ取纏メ當該人事部長又ハ舞鶴、大湊、鎮海要港部參謀長ニ送付致候ニ付行動豫定變更等ニ依リ單獨施行トナリタル時ハ最寄人事部長又ハ本校ニ請求相成度)

試驗施行日

高經

昭和九年五月<sup>二十四</sup>二十五日(金)

普經  
掌厨

昭和九年五月二十五日(金)

(海軍經理學校)

○正誤

去月六日通牒欄艦本第三五六號様式甲中「一般註文工事現況報告」ハ「一般註文工事現況報告(製造所名)」ノ、「註文先」ハ「註文元」ノ就モ誤

1981 0485

○ 艦船所在

△印ハホ  
指定ヲ要セズ

○五月二日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、風翔、八雲、北上、大鯨、  
比叡、駒橋、八重山、木曾、伊勢

伊二三、伊二四  
掃二、掃四

富士、尻矢、泷崎、膠州、大和、知床

【長浦】

駿島  
呂五五、呂五四、呂五六

掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

青島

【名古屋】

神風、波風、野風

呂五八、呂五七

【函館】

沼風

【厚岸】

略

【大泊】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、神通、  
韓崎、阿武隈、加古、  
谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、  
東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、  
呂五三、呂二七、呂二八、呂六二、  
呂六〇、呂六一、伊二二、伊二二、  
伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、  
掃一四

石廊、攝津、朝日、隱戸、襟裳、室戸  
伊六八、(最上)

【大阪】

常磐  
初雁、(掃一五)

神戶 伊五三、伊五四、伊五五  
(伊六九)、(伊六)

【玉】

(掃一六)

【安下庄】

大井

【平城】

白鷹

【佐伯】

金剛、霧島、扶桑、日向、長良、  
五十鈴、名取、川内、長鯨、赤城、  
龍驤、鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、  
衣笠、古鷹、那珂、由良

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、  
三月月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、  
睦月、卯月、如月、彌生、沖風、矢風、  
電、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、

【細島】 澤風  
 【舞鶴】 吾妻▲  
 呂二六  
 【能代】 多摩  
 【佐世保】 夕張、加賀▲、羽黒、鬼怒、迅鯨  
 梨、竹、樞、区柳、桃、檜、檜、水無月、  
 長月、区子日、初春、峯風▲  
 呂二九、呂三〇、呂三二、呂三三、  
 呂三三、呂二四、呂二五、呂三一、  
 呂六六、呂六七、区伊六〇、伊五九、  
 伊六三  
 区千鳥、真鶴、友鶴  
 敷島▲、早鞆  
 (若葉)  
 【長崎】 那智▲、妙高▲  
 【三池】 龍田  
 【馬公】 区太刀風、秋風、帆風、羽風  
 【鎮海】 区蓬、蓼、蓮  
 【旅順】 区藤、蕨、萩、薄

【青島】 淀  
 【上海】 比良  
 区董、菱、浦風  
 【南京】 伏見  
 【九江】 鳥羽、保津  
 【漢口】 對馬  
 【長沙】 隅田  
 【宜昌】 熱海、堅田  
 【重慶】 二見  
 【馬尾】 球磨  
 【廣東】 葦  
 【香港】 嵯峨  
 【マルセイユ】 淺間、磐手  
 【作樂地】 能登呂  
 【航海中】  
 勢多 (四月二十九日宜昌發—重慶へ)  
 安宅 (四月二十九日宜昌發—漢口へ)  
 勝力 (一日吳發—豊後水道へ)  
 出雲 (一日市發—小樽へ)  
 宇治 (一日沙市發—漢口へ)  
 春日 (一日舞鶴發—小樽へ)  
 足柄 (一日鼻月、文月、区呂六三、呂六四、呂六八  
 呂五九  
 佐多 (一日横須賀發—大湊へ)  
 野島 (一日佐世保發—「ロスマン・ベルス」へ)  
 天龍 (一日吳發—横須賀へ)  
 (二日青島發—旅順へ)

(部内限二頁、同號外三頁)

1983 0497

# 海軍公報 第二千五百五十九號

海軍大臣官房

昭和九年五月三日(木)

## ○辭令

海軍中佐 濱田 淨  
海軍軍事普及部委員ヲ命ス(海軍省)

## ○雜款

○特務艦襟裳行動豫定

地名	着	發
吳山	五月二十九日	五月二十八日
德須賀	六月二日	三月十日
横須賀	六月八日	六月五日
大湊	六月二十五日	六月九日
オハ	七月六日	七月二十八日
德山	七月九日	七月八日

○佛國通報艦タユール來航豫定

地名	着	發
高松	五月十日	五月十四日

神戸	十四日	二十四日
横濱	二十六日	六月四日
鹿兒島	六月七日	六月十二日
長崎	六月十三日	六月十九日

○郵便物發送先  
特務艦洲崎宛

五月六日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀  
共ノ後ハ横濱郵便局氣付(軍艦郵便)

○正誤

去月十七日號外昭和九年度被服物品代價表中下士官軍衣ノ項「五一七〇」ハ「四九七〇」、腹卷ノ項「二三一〇」一五四〇ハ「一二八〇」八五〇ノ孰モ誤

海軍公報 第二千五百五十九號 昭和九年五月三日

四二七

1984 0438

○艦船所在

指定印ハハホニ要セズ

○五月三日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、鳳翔、八雲、北上、大鯨、比叡、駒橋、八重山、木曾、伊勢

天霧、朝霧、夕霧、椿

伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士、尻矢、洲崎、膠州

【長浦】

嚴島

呂島風、汐風、夕風、灘風、隴

呂五五、呂五四、呂五六

掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

青島

神風、野風

呂五八、呂五七

【大湊】

神風、野風

呂五八、呂五七

【函館】

沼風

波風

【小樽】

曙

【稚内】

曙

【厚岸】

潮

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、神通、韓崎、阿武隈、加古、白鷹、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日、隱戸、襟裳、室戸

(伊六八)、(最上)

常磐

(初雁)、(掃一五)

神戸、伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

玉、(掃一六)

安下庄、大井

佐伯、金剛、霧島、扶桑、日向、長良、五十鈴、名取、川内、長鯨、鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、那珂、由良

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、三月月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、陸月、卯月、如月、彌生、電、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、初雪、白雪

1985 0489

<p>【能代】 多摩 夕張、加賀▲、羽黒、鬼怒、迅鯨 梨、竹、樞、区柳、桃、檜、櫻、水無月、 長月、区子日、初春、峯風▲ 区呂二三、区呂二四、区呂二五、区呂三一、 区呂二九、区呂三〇、区呂三一、区呂六五、 区呂六六、区呂六七、区伊六〇、伊五九、伊六三 友鶴 敷島▲、早鞆 (若葉)</p>	<p>【舞鶴】 吾妻▲ 区夕顔、葵、菊 区二六</p>	<p>【細島】 赤城、龍驤 区沖風、矢風、澤風 間宮、神威、鳴戸、鶴見</p>	<p>区白雲、叢雲、薄雲 区伊三、伊一、伊二、区伊五、伊四、区伊五六、 伊五七、伊五八、区伊六一、伊六二、 伊六四、区伊六七、伊六五、伊六六</p>	<p>【長崎】 那智▲、妙高▲ 区龍田</p>	<p>【鎮海】 区蓬、区蓮</p>	<p>【旅順】 天龍 区藤、区葛、区萩、区薄</p>	<p>【青島】 淀 比良 浦風 区出雲 栗、榆、梅、菱</p>	<p>【上海】 伏見 区柿、栗、榆、梅、菱</p>	<p>【南京】 伏見 区保津</p>	<p>【漢口】 伏見 区安宅、對馬、宇治</p>	<p>【長沙】 剛田</p>	<p>【宜昌】 熱海、堅田 二見、勢多</p>	<p>【重慶】 球磨</p>	<p>【馬尼拉】 太刀風、秋風、帆風、羽風</p>	<p>【廈門】 華</p>	<p>【廣東】 嵯峨</p>	<p>【香港】 マルセイユ 区淺間、磐手 能登呂</p>	<p>【作業地】 能登呂</p>	<p>【航海中】 春日 (一日舞鶴發—小樽へ) 足柄 (一日舞鶴發—小樽へ) 区臯月、文月、区呂六三、呂六四、呂六八 呂五九 (一日佐世保發—大湊へ) 佐多 (一日佐世保發—大湊へ) 野島 (一日佐世保發—羅府へ) 鳥羽 (一日佐世保發—羅府へ) 知床 (一日佐世保發—羅府へ) 区馬鞍 (一日佐世保發—羅府へ) 区千島 (一日佐世保發—羅府へ) 大和 (一日佐世保發—羅府へ)</p>
--	-------------------------------------	---	--	-----------------------------	-------------------	--------------------------------	---	-------------------------------	------------------------	------------------------------	----------------	-----------------------------	----------------	---------------------------	---------------	----------------	--------------------------------------	------------------	---

(部内限二頁、同號外三頁)

1986 0499

# 東郷元帥眞蹟複寫豫約募集

鑲型及章句、縮刷寫眞参照

大サ 長サ四尺三寸 幅二尺二寸

紙質 玉箋と絹地の二種  
 實價 (甲)玉箋の分 金壹圓以内 (送料共)  
 (乙)絹地の分 金參圓貳拾錢以内 (送料共)

豫約締切 五月十日 發送見込 縮切直後より出來高に従ひ順次郵送す。

神明は唯平素の鍛錬に力め戦はると  
 既に勝てる者、勝利の榮冠を授ると同時  
 一勝に満足せず、活平の安をる者より直に之を  
 獲ふ古人曰く勝て兜の緒を締めよ

大正九年九月 平八郎

右は大正九年、大谷海軍中將扶桑艦長たりし時同艦用として、元帥に御揮毫を願ひしものにして爾來同艦將官室に掲げ乗員の教育指針として保存せられあるものなり、時恰も海軍記念日を迎へんとするに當り當時を回顧するに恰好のものたるのみならず又吾人海軍々人、一軸を掲げて以て永久に珍重すべきものと認め今回荒木扶桑艦長の厚意に依り本會に於て複寫の上希冀者に頒たんとするもの也。

東京市芝區榮町 財團  
 十三番地、水交社内 法人 有 終 會

1987 0491

# 海軍公報

第二千六百六十號

海軍大臣官房

昭和九年五月四日(金)

## ○通牒

軍務二第一三四號

昭和九年五月一日

海軍省軍務局長

横須賀鎮守府 參謀長殿  
第一、第二艦隊

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒

外國船内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左記ノ通免狀  
交付ノ旨通牒有之候

第一四五號

免狀

- 一 船名 フリニ
- 一 國籍 米國
- 一 種類 帆船
- 一 船主氏名及國籍 米國人 アール、ビー、トイストラ
- 一 船長氏名及國籍 同上

海軍公報 第二千六百六十號

昭和九年五月四日

- 一 噸數 七噸
  - 一 網具ノ裝置 スループ
  - 一 橋ノ數 一本
  - 一 寄港ノ目的 娛樂
  - 一 航路 月島横濱間
  - 一 寄港地名 東京府月島
- 右不開港場ニ寄港スルコトヲ特許ス  
本免狀有効期間ハ昭和九年五月一日ヨリ昭和九年六月三十日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖其ノ寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ
- 昭和九年五月一日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

- 一 本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ
- 二 本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ其ノ

四三一

1988

~~0493~~

- 三 検査ヲ受クベシ
- 三 本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スベカラズ
- 四 每航行ニ於ケル巡航日時ヲ豫定シ就航前本船所有者ノ住所ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅベシ巡航日時ヲ著シク變更シタルトキ亦同ジ
- 五 每航行ニ於ケル就航前本船々員及船員以外ノ乗船者ノ氏名、国籍、住所及職業ヲ前項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 六 本免狀ニ記載セル船長ヲ變更セムトスルトキ又ハ船長以外ノ者ヲシテ其ノ職ヲ執ラシメムトスルトキハ豫メ第四項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 七 瀬戸内海ノ航行ニ付テハ大阪府佐野ト兵庫縣洲本、兵庫縣佛崎ト徳島縣栗田、愛媛縣長濱ト大分縣鶴崎、山口縣壇生ト福岡縣苅田ヲ結ブ線外ヲ航行スベカラズ
- 八 廣島附近ノ海面ニ付テハ五日市、津久根島及西能美島ノ西北端ヲ連スル線以東ニ立入り且早瀬及音戸ノ兩水道ヲ通過スベカラズ
- 九 本航行心得ニ違背スルトキハ直ニ特許ヲ取消スベシ

シ  
 一 特許期間満了ノトキ又ハ特許ヲ取消サレタルトキハ直ニ第四項ノ地方長官ヲ通ジ本免狀ヲ返納スベシ

二 本船ハ出帆前地方應ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ

經物第八四號  
 昭和九年五月四日

海軍省 經理局

關係各應御中  
 通常物品會計規程書式ニ關スル件通牒  
 今般達第七十五號ヲ以テ改正相成候首題ノ件之ガ記載方ハ別紙ニ依ルコトト御承知相成度  
 (別紙一葉添)

○ 辭 令

海軍機關少佐 今田 乾吉  
 第三課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)

1989 0499

海軍中佐 田中 保郎

第二部勤務ヲ命ス(三十四日海軍艦政本部)  
海軍機關中佐 西海 賢治  
在大阪首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍技師 鈴木 劍一

第二部附ヲ命ス  
在名古屋首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上三十九日同)

海軍技手 馬淵 茂夫  
第三課勤務ヲ命ス(三十四日水路部)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更  
第二十六潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ呂號第六十二潜水艦ヨリ呂號第六十一潜水艦ニ變更セリ

後備役海軍少佐正六位勳五等永井信太郎昨三日死去、明五日後二時ヨリ同三時迄東京市本郷區弓町一ノ一(市電壹岐坂下停留場下車)自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

海軍書記石塚胤長ハ本月一日死去セリ

○正誤  
一昨二日辭令欄中「石岡治郎」ハ「吉岡治郎」ノ誤

1990 0497

1991

# 通常物品「(保管轉換領收)」票

第二號書式

科目	款	項	應名
出納命令官		物品會計官吏	物品取扱主任
品名	單位	數量	單價
「鋼板」	「五十廉」		
但シ「別紙内譯書ノ通」			
本票ノ物品「(保管轉換領收)」ス			
昭和 年 月 日			

「」ハ記載例ヲ示ス

(昭和九年五月四日公報別紙)

備考  
通常物品取扱主任ニ於テ本票ヲ作ルトキハ單價代價ノ記入ヲ要セス又品名ノ欄ニ監督者ノ檢印ヲ受クヘシ

○艦船所在 印ハハカフ  
指定ヲ要セズ

○五月四日午前十時調

【横須賀】 日進、山城、風翔、八雲、北上、大鯨、

比叡、駒橋、八重山、木曾、伊勢

伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士、尻矢、洲崎、膠州、野島

【長浦】 殿島

呂島風、汐風、夕風、灘風、朧

呂五五、呂五四、呂五六

掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】 (初霜)

【二見】 青島

【大湊】 呂神風、野風

呂五八、呂五七、呂五九

【函館】 沼風

【小樽】 春日

【稚内】 曙

【厚岸】 潮

【吳】 長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、神通、

韓崎、阿武隈、加古、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

呂芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、

呂東雲、磯波、吹雪、吳竹、若竹、早苗

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二七、呂二八、呂六一、

呂六〇、呂六二、伊二二、伊二二、

伊五二、伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日、隱戸、襟裳、室戸

伊六八、(最上)

伊六九、(伊六)

伊五三、伊五四、伊五五

伊六九、(伊六)

掃一六

常磐

大井

金剛、霧島、扶桑、日向、長良、

五十鈴、名取、川内、長鯨、島海、

高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、

那珂、由良

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、

三日月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、

睦月、卯月、如月、彌生、電、雷、響、

曉、狹霧、漣、深雪、初雪、白雪、

1992 0496

【白雲】 叢雲、薄雲  
 【伊三】 伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六  
 【間宮】 神威、鳴戸、鶴見  
 【細島】 赤城、龍驤  
 【沖風】 矢風、澤風  
 【舞鶴】 吾妻  
 【夕顔】 葵、菊  
 【呂二六】  
 【土崎】 多摩  
 【佐世保】 夕張、加賀、羽黒、鬼怒、迅鯨、梨、竹、榎、柳、桃、檜、櫻、水無月、長月、日子日、初春、峯風  
 【呂二三】 呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三、友鶴、敷島、早鞆  
 【若葉】  
 【長崎】 那智、妙高  
 【本渡】 龍田  
 【馬公】 嵯峨  
 【鎮海】 蓬、蓼、逆  
 【旅順】 天龍

【青島】 藤、葛、萩、薄  
 【上海】 比良  
 【馬鞍山】 董、浦風  
 【定海】 栢、栗、榆、梅  
 【南京】 伏見  
 【九江】 保津  
 【漢口】 安宅、對馬、宇治、鳥羽  
 【長沙】 陰田  
 【宜昌】 熱海、堅田  
 【重慶】 勢多  
 【廣東】 葦  
 【マルセイユ】 淺間、磐手  
 【作樂地】 能登呂、大和  
 【航海中】  
 佐多 (一日佐世保發—羅府)  
 知床 (二日橫須賀發—吳)  
 球磨 (三日馬尾發—馬公)  
 二見 (三日重慶發—上海)  
 自鹿 (三日吳發—豊後水道)  
 太刀風 (三日厦門發—馬公)  
 千鳥 (三日佐世保發—舞鶴)  
 足柄 (三日佐世保發—馬公)  
 掃九 (四日橫須賀發—福江)  
 掃九 (四日吳發—佐伯)

(別紙一葉、部内限一頁)

1993 0497

# 海軍公報

第二千六百六十一號

昭和九年五月五日(土)

海軍大臣官房

## ○辭令

海軍少將 池中 健一  
軍令部ニ於ケル事變關係編纂事務ヲ囑託ス(請海軍省)

海軍軍醫中佐 上原 純之助  
海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍軍醫少佐 林 成道  
海軍武官任用委員ヲ免ス

海軍軍醫學生藥劑學生主計學生及海軍造船學生造船機學生造兵學生同候補者並ニ生徒志願者身體検査委員ヲ免ス

同 銅直 杉造  
海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(以上各同)

(各通) 計畫助手 大石 功  
同 藤川 惠

同 野田 三郎  
部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(請海軍總政本部)

海軍主計大佐 金谷 隆一

在大阪造船造兵監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸造船造兵監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍主計中佐 足立 又彦  
在八幡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍主計少佐 長野 昌敏  
在東京造船造兵監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍書記 江添 俊一  
總務部第二課附ヲ命ス(以上請海軍航空本部)

## ○雜款

○命名式舉行

來五月十九日(土)午後二時(雨天順延)東京市日比谷公園ニ於テ左記報國號兵器ノ命名式ヲ舉行セラル

記

兵器等種類 報 國 號 獻 納 者

海軍公報 第二千六百六十一號 昭和九年五月五日

四三七

1994 0498

輕機銃	送信機	受信機	受信機	航空燈臺	受信機	受信機	機銃附車自動自轉	空中聽音機(小)	輕機銃
機銃報國第三十二號 (日光製銅所號)	送信機報國第一號 (片山號)	受信機報國第十九號 (二瀬號)	受信機報國第十八號 (樋口號)	航空燈臺報國第一號 (小糸號)	受信機報國第十三號 (第十七號倉號) (第二十五名倉號)	受信機報國第七號 (第十一號) (第二十五成毛號)	機銃報國第一號 (三井船船號)	機銃報國第一號 (第一及第二東京舞踏組合號)	機銃報國第二十九號 (鎮要工作部號)
古河電氣工業株式會社 日光電氣製銅所 國防同盟會	東京市片山照雄	八幡製鐵所二瀬出張所 國防同志會	東京市樋口春吉	東京市小糸源六郎	東京市名倉厚	東京市成毛金次郎	三井船船乘組員	東京社交舞踏場組合	鎮要港部工作部從業員
機銃報國第二號 (全國辯護士會號)	機銃報國第三十四號 (全國辯護士會號)	受信機報國第二十號 (代々幡號)	受信機報國第二十號 (上原號)	電燈報國第一號 (第五綱川號)	(海軍省副官)				
全國辯護士會有志	帝國在郷軍人會 各區代々幡分會	東京市上原金次郎	東京市綱川定一						
<p>○司令驅逐艦變更 第一驅逐隊司令ハ昨四日司令驅逐艦ヲ一時神風ヨリ野風ニ變更セリ</p> <p>○伊國軍艦クワルト來航豫定 地名 期日 記事 長崎 五月九日頃 燃料搭載ノ爲一時停港</p> <p>○郵便物發送先 特務艦朝日宛 五月六日迄ニ到達見込ノモノハ吳</p>									

1995 0499

同 十一日迄ニ 同 佐伯海軍航空隊氣付  
其ノ後ハ 吳

○事務所設置  
第十六號掃海艇艦裝員事務所ヲ三井物産造船部玉工場  
内ニ設置シ本月一日ヨリ事務ヲ開始セリ

○事務所設置  
特務艇那沙美艦裝員事務所ヲ兵庫縣赤穂郡相生町播磨  
造船所内ニ設置シ去月二十六日ヨリ事務ヲ開始セリ

1996 0509

○艦船所在

▲印ハハホノ  
指定ヲ要セズ

○五月五日午前十時調

【横須賀】

日進▲山城▲鳳翔、八雲、北上、大鯨、  
比叡、駒橋、八重山、▷木曾、伊勢

▷天霧、朝霧、夕霧

▷伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士▲、尻矢、洲崎、膠州、野島

【長浦】

嚴島

▷島風、夕風、夕風、灘風、隴

▷呂五五、呂五四、呂五六

▷掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

【大湊】

▷野風、神風

▷呂五八、呂五七、呂五九

【函館】

沼風

【小樽】

春日

【留萌】

曙

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、神通、  
韓崎、▷阿武隈、加古、勝力

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

▷芙蓉、刈萱、朝顔、▷敷波、浦波、綾波、

▷東雲、磯波、吹雪、▷吳竹、若竹、早苗

▷呂一七、▷呂一八、▷呂一九、▷呂五一、

▷呂五三、▷呂二七、▷呂二八、▷呂六一、

▷呂六〇、▷呂六一、▷伊二二、伊二二

掃七、掃八、掃一〇、▷掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日▲、隠戸、襟裳、室戸、知床

(伊六八)、(最上)

【大阪】

(初雁)、(掃一五)

【神戸】

▷伊五三、伊五四、伊五五

【廣島】

▷伊五二、伊五一

【平城】

白鰲

【須崎】

常磐

【佐伯】

▷金剛、霧島、▷扶桑、日向、▷長良、

五十鈴、名取、▷川内、▷長鯨、▷鳥海、

高雄、愛宕、摩耶、▷青葉、衣笠、古鷹、

▷那珂、▷由良

▷松風、春風、旗風、朝風、▷菊月、望月、

三月月、夕月、▷疾風、追風、朝風、夕風、

▷睦月、卯月、如月、彌生、▷電、雷、響、

▷曉、狹霧、漣、▷深雪、初雪、白雪、

1997 0501

【白雲、叢雲、薄雲】

【伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六、掃九】

【間宮、神威、鳴戸、鶴見】

【細島】赤城、龍驤

【沖風、矢風、澤風】

【舞鶴】吾妻

【夕顔、葵、菊】

【呂二六】

【油津】龍田

【土崎】多摩

【佐世保】夕張、加賀、羽黒、鬼怒、退鯨

梨、竹、樞、柳、桃、檜、櫻、水無月、長月、日子日、初春、峯風

【呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三】

友鶴

敷島、早鞆

【若葉】

【福江】足柄

【卓月、文月】

【呂六三、呂六四、呂六八】

【長崎】那智、妙高

【馬公】鯨、球磨、太刀風、秋風、帆風、羽風

【鎮海】蓬、蓼、連

【旅順】天龍

【青島】淀

【上海】比良

【馬鞍山】浦風

【定海】柿、栗、楡、榎、芭蕉

【南京】菱

【九江】伏見

【漢口】保津

【長沙】安宅、對馬、宇治、島羽

【宜昌】熱海、墜田

【重慶】勢多

【廣東】

【作業地】淺間、磐手

【航海中】能登呂、大和

【佐多】(一日佐世保發—羅府)

【二見】(三日重慶發—上海)

【千鳥、真鶴】(三日佐世保發—舞鶴)

【藤、葛、萩、蕪】(四日旅順發—青島)

【湖】(四日厚岸發—鯨ヶ澤)

【青島】(四日二見發—神戶)

(部内限二頁)

1998 0502

# 海軍公報

第二千六百六十二號

海軍大臣官房

昭和九年五月七日(月)

## ○辭令

○昭和九年五月七日

任海軍技手  
給月俸七拾圓

角田喜久雄

横濱地方裁判所所屬辯護士 山本 重治  
海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(請海軍大臣)

水路部附海軍技手 鈴木 忠之助  
海軍艦政本部勤務ヲ命ス

同 角田喜久雄

水路部附ヲ命ス(以上請海軍省)

勳八等 大瀧 與吉

海軍省軍務局事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待  
遇セラル(請海軍省軍務局)

神戶地方ノ監督任務ニ從事スヘシ  
海軍少將 在塚 喜友

大阪地方ノ監督任務ニ從事スヘシ  
同 原 五郎

東京地方ノ監督任務ニ從事スヘシ  
海軍大佐 松木 益吉

兼務應ニ於テ服務スヘシ  
海軍機關少佐 今田 乾吉

自今在大阪造船造兵監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在  
神戶造船造兵監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ  
海軍主計大佐 金谷 隆一

在八幡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ  
海軍主計中佐 足立 又彦

在東京造船造兵監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ  
海軍主計少佐 長野 昌敏

第四部勤務ヲ命ス(以上請海軍艦政本部)  
海軍造船少佐 中村 小四郎

海軍公報 第二千六百六十二號 昭和九年五月七日

四四三

1999

0599

○ 雜 款

○ 旗艦變更  
吳警備戰隊司令官ハ一昨五日旗艦ヲ一時阿武隈ヨリ神  
通ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦變更  
第二十七驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ葦ヨリ菱  
ニ變更セリ

○ 軍艦比叡行動豫定中訂正(五月一  
本冊参照)  
清水發「五月二十五日」ヲ「五月二十四日」ニ改ム

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月七日午前十時調

【横須賀】

目進▲山城▲鳳翔、八雲、北上、大鯨、  
比叡、駒橋、八重山、▷木曾、伊勢

▷天霧、朝霧、夕霧

▷伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士▲、尻矢、洲崎、野島

【長浦】

嚴島

▷島風、沙風、夕風、灘風、隴

▷呂五五、呂五四、呂五六

▷掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

▷野風、神風、沼風

▷呂五八、呂五七、呂五九

大泊

【小樽】

波風、曙

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、  
加古▲

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、  
▷芙蓉、刈萱、朝顔、▷敷波、浦波、綾波、

▷東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、  
呂二一、呂二二

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▷掃一三、  
掃一四

石廊、攝津、隠戸、襟裳、室戸、青島

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(最上)

2001 0505

【舞鶴】

伊六四、伊六七、伊六五、伊六六  
間宮、神威、鳴戸、鶴見  
香妻▲  
区夕顔、葵、菊  
呂二六  
区千鳥、真鶴  
(夕暮)

【西之表】

龍田  
夕張、加賀▲、羽黒、鬼怒、迅鯨▲  
梨、竹、榊、区柳、桃、檜、櫻、水無月、  
長月、区子日、初春、峯風▲  
呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、  
呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、  
呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三  
友鶴  
敷島▲、早鞆  
(若葉)

【長崎】

那智▲、妙高▲、区足柄  
区阜月、文月  
呂六三、呂六四、呂六八

【馬公】

嵯峨、球磨  
区太刀風、秋風、帆風、羽風

【鎮海】

区蓬、菱、蓮

【旅順】

天龍

【大鹿島】

淀

【青島】

区藤、葛、萩  
比良  
浦風

【南京】

区柿、栗、榆、梅、董  
伏見  
保津

【漢口】

区安宅、宇治、鳥羽  
對馬

【長沙】

区安宅、宇治、鳥羽  
熱海、堅田

【重慶】

勢多  
區

【廣東】

區  
能登呂、大和

【航海中】

佐多 (一日佐世保發—羅府—)  
二見 (三日重慶發—上海—)  
神通、区吳竹、若竹、早苗 (五日吳發—豊後水道—)  
膠州 (五日橫須賀發—父島—)  
区出雲、区菱 (六日定海發—馬鞍群島—)  
薄 (六日青島發—旅順—)  
知床 (六日吳發—橫須賀—)  
韓崎、勝力、呂二八、呂六二、呂六〇、呂六二、  
伊二一、伊二二、区伊五二、伊五一 (七日吳發—  
濱習地—)

【多摩】

区潮 (七日加茂發—寺泊—)  
朝日 (七日吳發—伊豫灘—)

(部内限二頁)

2002 0506

# 海軍公報

第二千六百六十三號

海軍大臣官房

昭和九年五月八日(火)

## ○令達

官房第二〇五四號ノ二

左記ニ依リ海軍經理學校ニ於テ海軍省教育局長主宰ノ下ニ臨時思想講習ヲ施行ス

左記第二號ノ講習員ヲ派遣スベシ

追テ所屬長官ハ講習員ヲ決定シ其ノ官職氏名ヲ五月二十日迄ニ海軍省教育局長ニ通報スベシ

昭和九年五月八日

海軍大臣

## 記

一、講習期間

昭和九年六月一日ヨリ七日間

二、講習員

横須賀鎮守府

吳鎮守府

佐世保鎮守府

高等官十三

高等官十一

高等官七

舞鶴要港部

大湊、鎮海要港部

聯合艦隊

海軍兵學校、海軍機關學校、海軍軍醫學校、

海軍經理學校

艦政本部、海軍技術研究所、水路部、

海軍火藥廠

各鎮守府舞鶴要港部聯合艦隊ヨリ派遣スベキ講習員ノ選定ニ關シテハ別ニ海軍省教育局長ヲシテ通牒セシム

高等官各一

三、講習員參集日時

昭和九年六月一日午前八時三十分

四、旅費

講習開始當日東京着終了即日發トシテ特別會計廳ニ屬スル者ヲ除ク外請求ヲ俟テ別途配付ス

## ○辭令

海軍公報 第二千六百六十三號

昭和九年五月八日

四四七

2003 0507

熊沢 忠廣

建築業務ヲ囑託ス

但シ報酬月額八拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待  
遇セラル(請海軍省建築局)

○ 雜 款

○ 驅逐艦進水

舞鶴要港部工作部ニ於テ建造ノ驅逐艦夕暮一昨六日午  
前十一時進水セリ

○ 移轉

海軍次官藤田尙徳ハ一昨六日左記ニ移轉セリ

目黒區中目黒四ノ一四四八(電話青山 六九九九番)

記

○ 電話架設

海軍參與官川島正次郎麴町宅(麴町區永田町二ノ六三)  
銀座 三五五三番

○ 出發

英國 駐在 海軍機關中尉 安武 秀次

五月五日 東京發  
同 九日 門司發

歐米各 國出張 海軍技師 服部 保

五月五日 東京發  
午後一時 東京發  
同 十八日 神戸發

照國丸

○ 正誤  
去月二十三日辭令欄中大庭常雄ノ位「正六位」ニ從五  
位」ノ誤

2004 05-09

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月八日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、鳳翔、八雲、北上、大鯨、比叡、駒橋、八重山、木曾、伊勢

伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士、尻矢、野島

【長浦】

島風、汐風、夕風、灘風、朧

呂五五、呂五四、呂五六

掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

【館山】

椿

【大湊】

野風、神風、沼風

呂五八、呂五七、呂五九

大泊

【小樽】

曙

【室蘭】

湖

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、加古

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、掃一四

石廊、攝津、隠戸、襟裳、室戸

(伊六八)、(最上)

(伊六八)、(掃一五)

【大阪】(初雁)

【神戸】伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【高松】大井

【和崎】白鷹

【佐伯】金剛、霧島、扶桑、日向、長良

五十鈴、名取、川内、長鯨、赤城、龍驤、島海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、那珂、由良、韓崎

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、三月月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、睦月、卯月、如月、彌生、沖風、矢風、澤風、電、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、初雪、白雪、白雲、濃雲、薄雲

伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六、伊六一、呂六〇、呂六二、伊二一

2005 0509

【舞鶴】

伊三二、伊五二、伊五一  
間宮、神威、鳴戸、鶴見  
吾妻▲  
呂二六  
呂千鳥、眞鶴

呂千鳥、眞鶴

【寺泊】

多摩  
夕張、加賀▲、羽黒、鬼怒、迅鯨▲  
梨、竹、榎、柳、桃、檜、櫻、水無月、  
長月、子日、初春、峯風▲  
呂三三、呂二四、呂二五、呂三一、  
呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、  
呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三

友鶴  
敷島▲、早瀬  
（若葉）

【長崎】

那智▲、妙高▲、足柄

呂六三、呂六四、呂六八

【鹿兒島】

龍田  
嵯峨、球磨

呂六三、呂六四、呂六八

【馬公】

太刀風、秋風、帆風、羽風

【旅順】

天龍  
藤、蒿、萩

【青海島】

比良  
浦風

【馬鞍群島】

出雲  
柿、栗、榎、梅、菱、董

【南京】

伏見  
保津

【大江】

對馬  
安宅、宇治、鳥羽

【漢口】

熱海、堅田

【重慶】

勢多

【廣東】

淺間、磐手  
能登呂、大和

【作樂地】

能登呂、大和

【航海中】

佐多  
（一日）佐世保發—羅府（）  
（三日）重慶發—上海（）  
（五日）吳竹、若竹、早苗（）  
（五日）吳發—豐後水道（）

【神州】

（五日）橫須賀發—父島（）

【薄州】

（六日）青島發—旅順（）

【知床】

（六日）吳發—旅順（）

【勝力】

（七日）吳發—旅順（）

【淀風】

（七日）小樽發—函館（）

【波風】

（七日）橫須賀發—本（）

【朝日】

（七日）吳發—伊豫灘（）

【春日】

（八日）大湊發—宇和島（）

【常磐】

（八日）佐伯發—東京灣外（）

【嚴島】

（八日）長浦發—東京灣外（）

【青島】

（八日）吳發—鎮海（）

（部内限九頁）

2006 0510

# 海軍公報

第二千六百六十四號

昭和九年五月九日(水)

海軍大臣官房

## ○辭令

海軍技手 角田喜久雄

第三課勤務ヲ命ス(警水路部)

## ○雜款

○特務艦知床行動豫定

地名	着	發
佐世保	五月二十八日	五月二十六日
上世保	六月一日	三月十日
佐世保	六月三日	六月三日
西戶崎	六月七日	六月六日
吳須賀	六月十一日	八月八日
鳥羽	六月十五日	十月十四日
吳世保	六月十八日	十月十六日
佐世保	六月二十一日	十月二十日

○訂正  
 昨八日本欄移轉中電話局「青山」ヲ「高輪」ニ訂正ス

退役海軍中佐從五位勳四等功五級堤虎一郎昨八日卒去、明十日午後二時ヨリ同三時迄東京青山齋場ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

海軍公報 第二千六百六十四號 昭和九年五月九日

四五

2007 0511

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○五月九日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、鳳翔、八雲、北上、大鯨、比叡、駒橋、八重山、木曾、伊勢

伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士、尻矢、知床

【長浦】

島風、汐風、夕風、灘風、隴

呂五五、呂五四、呂五六

掃六、掃一、掃三

【浦賀】

(初霜)

【館山】

椿

【大湊】

野風、神風、沼風

呂五八、呂五七、呂五九

大泊

【函館】

波風

【室蘭】

潮

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、加古

加古

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、芙蓉、刈萱、朝顔、敷波、浦波、綾波、東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、掃一四

石廊、攝津、隱戸、襟裳、室戸、野島

(伊六八)、(最上)

大井

(初雁)、(掃一五)

伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

常磐

霧島、扶桑、日向、長良

五十鈴、名取、川内、長鯨、赤城、龍驤、島海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、古鷹、那珂、山良

松風、春風、旗風、朝風、菊月、望月、三月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、睦月、卯月、如月、彌生、沖風、矢風、澤風、電、雷、響、曉、狹霧、漣、深雪、初雪、白雪、白雲、叢雲、薄雲

伊三一、伊一、伊二、伊五、伊四、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六七、伊六五、伊六六

問宮、神威、鳴戸、鶴見

【舞鶴】吾妻▲

呂夕顔、葵、菊

呂千鳥、真鶴

【柏崎】

多摩、白鷹

【佐世保】

夕張、加賀▲、羽黒、鬼怒、迅鯨▲、足柄、梨、竹、樞、柳、桃、檜、櫻、早月、文月、水無月、長月、子日、初春、峯風▲

呂三三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三二、呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三

女鶴、若葉▲、早靱

救島▲、早靱

【長崎】

那智▲、妙高▲

【鹿兒島】

龍田、球磨

【馬公】

嵯峨、秋風、帆風、羽風

【鎮海】

蓬、蓼、蓮

【旅順】

薄

【青島】

藤、蕙、萩

【上海】

比良、浦風

【馬鞍山】

出雲

【南京】

伏見、對馬

【漢口】

安宅、宇治、鳥羽

【宜昌】

熱海、堅田

【重慶】

勢多

【廣東】

淺間、磐手

【作業地】

能登呂、大和

【航海中】

佐多 (一日佐世保發—羅府)

【神通】

二見 (三日重慶發—上海)

【勝力】

神通、吳竹、若竹、早苗 (五日吳發—豊後水道)

【洲崎】

七日吳發—演習地

【春日】

七日橫須賀發—豫灘

【嚴島】

八日吳發—伊豫灘

【韓崎】

八日大湊發—東京灣外

【伊三】

八日長浦發—東京灣外

【天龍】

呂六一、呂六〇、呂六二、伊二一、伊二二、伊五二、伊五二、呂二八 (八日佐伯發—演習地)

【曙五】

八日旅順發—渤海灣作業地

【掃五】

八日小樽發—橫須賀

【青島】

八日長浦發—相模灘

【膠州】

八日吳發—鎮海

【伊六四】

八日父島發—硫黃島

【伊六四】

九日佐伯發—佐世保

(部内限三頁、同號外十頁)

2009 0510

# 海軍公報

第二千六百六十五號

海軍大臣官房

昭和九年五月十日(木)

## ○雜款

○着任、退廳

長谷川海軍次官本十日着任、藤田前海軍次官同日退廳

○司令驅逐艦變更

第一驅逐隊司令ハ昨九日司令驅逐艦ヲ野風ヨリ神風ニ變更セリ

海軍公報 第二千六百六十五號 昭和九年五月十日

四五五

2010 6514

○艦船所在

▲印ハハホ  
指定ヲ要セズ

○五月十日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、鳳翔、八雲、北上、大鯨、比叡、駒橋、八重山、木曾、伊勢

伊天霧、朝霧、夕霧

伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士▲、尻矢、知床

【長浦】

嚴島

伊島風、汐風、夕風、灘風、隴

伊呂五五、呂五四、呂五六

伊掃六、掃一、掃三

【浦賀】(初霜)

伊本▲、榕

伊硫黃島▲、膠州

伊大湊▲、伊神風、野風、沼風

伊呂五八、呂五七、呂五九

【函館】

波風

伊吳▲、長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、加古▲

伊谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、伊芙蓉、刈萱、朝顔、伊敷波、浦波、綾波、伊東雲、磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃二三、掃一四

石廊、攝津、隠戸、襟裳

(伊六八)、(最上)

大井

【大阪】

(初雁)、(掃一五)

【神戸】

伊伊五三、伊五四、伊五五

【玉】

(掃一六)

【八幡濱】

常磐

【佐伯】

伊金剛、霧島、扶桑、日向、長良、五十鈴、名取、川内、長鯨、赤城、龍驤、伊島海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、吉鷹、那珂、山良

伊松風、春風、旗風、朝風、伊菊月、望月、三日月、夕月、疾風、追風、朝風、夕風、伊睦月、卯月、如月、彌生、伊沖風、矢風、伊澤風、伊電、雷、響、伊曉、狹霧、漣、伊深雪、初雪、白雪、伊自雲、叢雲、薄雲、伊伊三、伊一、伊二、伊五、伊四、伊伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊六七、伊六五、伊六六、伊宮、神威、鴨戸、鶴見

2011 0515

【舞鶴】 吾妻▲

呂夕顏、葵、菊

呂千鳥、真鶴

(夕暮)

【柏崎】 多摩、白鷺

夕張、加賀▲、羽黒、鬼怒、迅鯨▲、▷足柄

梨、竹、榎、▽柳、桃、檜、櫻、▽草月、

文月、水無月、長月、▽子日、初春、峯風▲

呂三三、呂二四、呂二五、呂三一、

呂二九、呂三〇、呂三二、呂六三、

呂六四、呂六八、▽呂六五、呂六六、

呂六七、▽伊六〇、伊五九、伊六三

友鶴

敷島▲、早靱

(若葉)

【長崎】 那智▲、妙高▲

嵯峨、球磨

▽太刀風、秋風、帆風、羽風

【鎮海】 蓬、蓼、逆

青島

天龍

【旅順】 薄

青島

【青島】 藤、葛、萩

比良

【上海】 浦風

柿、栗、榆、梅、▽菱、葦

【馬鞍山島】 柿、栗、榆、梅、▽菱、葦

【南京】 伏見

保津、對馬

漢口▲▷安宅、宇治、鳥羽

長沙 岡田

宜昌 熱海、堅田

重慶 勢多

廣東 輩

【作業地】 淺間、磐手  
能登呂、大和、大泊

【航海中】

佐多 (一日佐世保發—羅府)

二見 (三日重慶發—上海)

神通、▽吳竹、若竹、早苗 (五日吳發—豊後水道)

勝力 (七日吳發—演習地)

洲崎 (七日吳發—伊豫灘)

春日 (七日吳發—伊豫灘)

春日 (七日吳發—伊豫灘)

韓崎、▽呂六一、呂六〇、呂六二、

伊二二、▽伊五一、伊五二、呂二八、

(八日佐伯發—演習地)

昭五 (八日小樽發—橫須賀)

掃田 (八日長浦發—相模灘)

山雲 (九日馬鞍發—上海)

龍田 (九日鹿兒島發—上海)

伊六四 (九日佐伯發—佐世保)

室戶 (九日吳發—佐世保)

野島 (九日大阪發—佐世保)

淀島 (十日旅順發—作業地)

(部内限一頁、同附錄五頁)

2012 0519

# 海軍公報

第二千六百六十六號

海軍大臣官房

昭和九年五月十一日(金)

## ○令達

官房第六六七號ノ四

海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和九年五月十一日

海軍大臣

二金屬、材料類第三二項、同第三六項、三機械、器具類第一項、同第二項、同第九項、同第二四項、同第二五項及同第三二項中「三菱造船株式會社」ヲ「三菱重工業株式會社」ニ改ム

二金屬、材料類第四二項中「十文字俊夫」ノ工場名「金門商會志村工場」ヲ「金門金屬工業所」ニ改ム

四電氣機械、器具、材料類第四六項中「松尾鶴松」ノ工場名「松尾發火栓製作所」ヲ「松尾鐵工場」ニ改ム

五計器、通信器類第二四項中「村田利八」ノ工場名「兼坂旋機工所」ヲ「村田鐵工所」ニ改ム

## ○辭令

(各通)

海軍大佐 谷本馬太郎

海軍中佐 保科善四郎

同 上野敬三

同 高木惣吉

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

同 酒卷宗孝

海軍學生銓衡委員ヲ免ス

海軍特務大尉 小島豊四郎

(各通) 海軍機關特務大尉 井村文衛

海軍特務大尉 千坂清廉

横須賀海軍軍需部ニ於ケル兵器修理關係業務ヲ囑託

シ報酬月額六拾五圓ヲ給ス(以上ハ海軍省)

海軍技手 鈴木忠之助

總務部第三課勤務ヲ命ス(請海軍艦政本部)

海軍公報 第二千六百六十六號 昭和九年五月十一日

四五九

2013 0517

○雜款

○特務艦隱戸行動豫定變更 (四月二十四日) (本欄参照)

地名	着	發
吳山	五月十六日	五月十六日
德山	十八日	十八日
吳山	二十日	二十日
德山	二十三日	二十三日
佐保	二十七日	二十四日
旅順	六月二日	三十日
佐保	六月四日	三日
德山	六月六日	五日
吳山	六月六日	五日

○特務艦室戸行動豫定中變更 (四月二十五日) (本欄参照)

佐世保發「五月十二日」ヲ「五月十一日」ニ、  
上海着「十四日」ヲ「十三日」ニ變更ス

○郵便物發送先  
特務艦知床宛

六月二日迄ニ到達見込ノモノハ	佐世保
同日迄ニ同	西戸崎
同日迄ニ同	吳戸崎
同日迄ニ同	横須賀

同十五日迄ニ同  
同十九日迄ニ同

鳥羽  
吳世保

○郵便物發送先變更 (四月二十四日) (本欄参照)

特務艦隱戸宛	五月十五日迄ニ到達見込ノモノハ	吳山
同	同十七日迄ニ同	德山
同	同十九日迄ニ同	吳山
同	同二十一日迄ニ同	德山
同	同二十三日迄ニ同	佐保
同	同二十五日迄ニ同	旅順
同	同二十七日迄ニ同	佐保
同	同二十九日迄ニ同	佐保
同	同六月二日迄ニ同	德山
同	同六月四日迄ニ同	吳山
其ノ後ハ	同	吳山

○赴任  
ソツイエト聯邦在勤帝國大使館附武官海軍少佐中瀬源  
本月十五日午後九時四十五分東京驛發敦賀經由赴任ノ  
豫定

2014 0510

○艦船所在

指<sup>△</sup>印<sup>ハ</sup>要<sup>セ</sup>ズ

○五月十一日午前十時調

【横須賀】

日進<sup>▲</sup>、山城<sup>▲</sup>、鳳翔、八雲、北上、大鯨、駒橋、八重山、<sup>▷</sup>木曾、伊勢、春日

区天霧、朝霧、夕霧

区伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士<sup>▲</sup>、尻矢、知床

【長浦】

嚴島、區島風、汐風、夕風、灘風、區潮、曙、隴

区呂五五、呂五四、呂五六

区掃六、掃一、掃三

【芝浦】

比叡

【浦賀】

(初霜)

【串本】

樺

【硫黃島】

膠州

【大湊】

区神風、野風、沼風

【函館】

波風

【吳】

加古<sup>▲</sup>、<sup>▷</sup>神通

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

区芙蓉、刈萱、朝顔、区敷波、浦波、綾波、

区東雲、磯波、吹雪、区吳竹、若竹、早苗

【大阪】

大井

【神戸】

(初雁)、(掃一五)  
区伊五三、伊五四、伊五五

【玉】

(掃一六)

【平城】

勝力

【大分】

常磐

【佐伯】

区金剛、霧島、<sup>▷</sup>扶桑、日向、<sup>▷</sup>長良、

五十鈴、名取、<sup>▷</sup>川内、<sup>▷</sup>長鯨、<sup>▷</sup>赤城、

龍驤、<sup>▷</sup>鳥海、高雄、愛宕、摩耶、<sup>▷</sup>青葉、

衣笠、古鷹、<sup>▷</sup>那珂、<sup>▷</sup>山良

区松風、春風、旗風、朝風、区菊月、望月、

三日月、夕月、区疾風、追風、朝風、夕風、

区睦月、卯月、如月、彌生、区沖風、矢風、

区深雪、初雪、白雪、区白雲、叢雲、薄雲

区伊三、伊一、伊二、区伊五、伊四、

区伊五六、伊五七、伊五八、区伊六一、

伊六二、区伊六七、伊六五、伊六六

掃九

2015 0519

【舞鶴】

間宮、神威、鳴戸、鶴見  
吾妻▲

呂夕顔、葵、菊

呂千鳥、眞鶴

(夕暮)

【東岩瀬】

多摩

【柏崎】

白鷺

【佐世保】

夕張、加賀▲、羽黒、鬼怒、迅鯨▲、足柄、龍田

梨、竹、樞、区柳、桃、楡、櫻、区臯月、文月、水無月、長月、峯風▲

呂三三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三二、呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、呂六七、呂六〇、伊五九、伊六三、伊六四

友鶴

敷島▲、早鞆、能登呂、室戸

(若葉)

那智▲、妙高▲

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

球磨

【旅順】

天龍

【青島】

薄、葛、萩

【上海】

浦風、区柿、栗、楡、柁、区菱、董

【南京】

伏見

【九江】

保津、對馬

【漢口】

安宅、宇治、鳥羽

【長沙】

熱海、堅田

【宜昌】

勢多

【重慶】

華

【廣東】

淺間、磐手

【作業地】

呂五八、呂五七、呂五九、大和、大泊

【航海中】

佐多 (一日佐世保發—羅府へ)

二見

(三日重慶發—上海へ)

洲崎

(七日横須賀發—「ホノルル」へ)

掃五

(八日長浦發—相模灘へ)

野島

(九日大阪發—佐世保へ)

淀

(十日旅順發—作業地へ)

朝日

(初春、十日佐世保發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

朝日

(十日演習地發—吳へ)

(附錄九頁、部内限二頁、同附錄四頁)

2016 0529

# 海軍公報 附録

昭和九年五月十一日(金)  
海軍大臣官房

## ○ 雜 款

### ○ 圖書

去ル三月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

### 和漢書ノ部

A二〇〇 戰 備

皇國の一九三六年に備へよ 海軍大佐 關根郡平著 昭和八 東京 兵書出版社 九二七

A五三〇 運用術

運用漫談 海軍中將 大谷幸四郎著 昭和九 東京 財団法人 有終會 P一八六  
A五四〇 通信術 P一六七

國際通信書 電信篇、信號篇 附、國際通信書解説 選信省管船局編 昭和八 東京 日本海員接濟會 九三五

英和 國際通信書 電信篇、信號篇 選信省管船局編 昭和八 東京 日本海員接濟會 九三五

C一〇〇 海 軍

海軍應衙及官職名等ノ英佛譯 海軍大臣官房編 昭和九 P一八四

わが海軍 橋本正雄編 昭和八 東京 海軍研究社 九六三

### 〇三〇〇 航 空

概 世界航空地理學 堀江賢三著 昭和八 東京 有文書院 九三六

### 〇四一〇 水 路 誌

南太平洋諸島東部水路誌(表誌第二十三號) 水路部編 昭和九 九三〇

九州沿岸水路誌 追補第三 水路部編 昭和九 P一八五

### 〇六一〇 精 神 教 育

大日本詔勅謹解 日本精神協會編 昭和八、九 東京 日本精神協會 九三五

第一卷 思想社會篇 森 清人著  
第二卷 道德教育篇 高須芳次郎著  
第三卷 軍事外交篇 高須芳次郎著

### 〇六三〇 體 育

水泳指針 文部省著 昭和七 東京 日本體育聯盟 九三七  
水泳(スポーツ叢書) 齊藤龜洋著 昭和五 東京 三省堂 九三五

### D〇〇〇 歴 史 一 般

世界歴史大系 平凡社編 昭和九 東京 平凡社 九二六

第四卷 東洋中世史(一) 志田不動麿編

D二一〇 日本史

日本歴史 (岩波講座) 國史研究會編 昭和九  
東京 岩波書店

九二四

歌學に就いて

日本神話に就いて

江戸時代の繪遊

磯田、豊臣二氏の統一事業

室町時代の庭園

群雄の争覇

讀日本書記 上、中、下

神代史 吾は祖先を語る

之真隨

故山下源太郎閣下を追憶して

書簡 偉人天才を語る

點描

國際法學 上卷

皇室制度講話

外地ニ行ハルル法律調

拓務大臣官房文書課編

昭和九年二月一日現在

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

昭和九

九六二

P二八五〇

P二八七三

P二八七四

P二八七二

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

九二七

F二七二 海事法令

海法會誌 第十八號 松波仁一郎編 昭和八  
東京 日本海法會

九三〇

G二二〇 經濟原論

非常時統制經濟論 小島清一著 昭和八  
東京 日本評論社

九三七

H一〇三 組合

産業組合中央金庫十年誌 産業組合中央金庫編  
昭和九

P一八六九

消費組合運動 本位田祥男著 昭和六  
東京 日本評論社

九三六

H一一一 農業

日本農民史 柳田國男著 昭和八  
東京 刀江書院

九三三

窮乏農村の再建方策 中澤辨次郎著 昭和九  
東京 大東出版社

九三四

H一三〇 工業

木材の乾燥 泉 岩太著 昭和九  
東京 西ヶ原刊行會

九三三

H一三二 化學工業

日本精油化學 平尾子之吉著 昭和七  
東京 裳華房

九二九

日本漆工の研究 深口悟一著 昭和八  
東京 丸善株式會社

九三九

H一四〇 交通

日本全國鐵道線路杆程 (昭和七年三月三十一日現在)  
鐵道省編

P一八五

2018 05-28

昭和六年 和	日本全國鐵道線路圖 鐵道省編	A 六四九
	附 南滿洲鐵道線路圖	
昭和八年 十二月	遞信一覽 遞信大臣官房文書課編 昭和九	P 二八五三
	II 四二二 通信	
	II 三三〇 統計諸表	
昭和六年 和	文部統計摘要 文部大臣官房文書課編 昭和九	P 二八五三
昭和七年 和	會社統計表 商工大臣官房統計課編 昭和九	P 二八五五
昭和七年 和	通信統計要覽 遞信省編 昭和九	P 二八五五
	II 三三二 國勢ニ關スル統計	
昭和五年 和	國富調査報告 內閣統計局編 昭和八	P 二八五四
	II 三三三 年鑑・年報	
昭和八年 和	拓務要覽 拓務大臣官房文書課編 昭和九	P 二八六〇
昭和七年 和	簡易保險局統計年報 簡易保險局編 昭和九	P 二八五六
	I 一四〇 郷土史	
	新風郷土の史蹟 郷土研究会編 昭和八	P 二八五四
	土記 東京 三陽書院	
	I 四八〇 西洋地誌事情	
	西洋の事情と思想 新渡戸稱造著 昭和九	P 二八七三
	東京 實業之日本社	
	J 二一〇 物理學	
	地球物理學 松澤武雄著 昭和四	P 二八八六
	東京 吉令書院	
	物理數學 第二卷 小平吉男著 昭和八	P 二九〇〇
	東京 岩波書店	
	J 二二二 力學	
	航海力學 前編 荒木 勤著 昭和九	P 二九〇一
	東京 巖松堂書店	
	附 初等數學概論	
	J 三一一 金屬工學	
	電氣製鋼法 市川直雄著 昭和八	P 二九〇六
	東京 丸善株式會社	
	近代の金屬材料 濱住松三郎著 昭和八	P 二九〇七
	東京 內田老鶴園	P 二九〇九
	第一篇 アルミニウムと其合金	
	第二篇 マグネシウムと其合金	
	第三篇 鋼及其合金	
	第四篇 ニッケルと其合金	
	第五篇 ホワイトメタル	
	第六篇 貴金屬	
	第七篇 鐵と鋼	
	第八篇 特殊鋼	
	J 三二四 建築	
	最新建築構造學 內藤多仲著 昭和九	P 二九〇四
	東京 早稻田大學出版部	
	高等建築學 常磐書房編 昭和九	P 二九〇六
	東京 常磐書房	
	第一卷 日本建築樣式 第一編 大岡 實著	P 二九〇九
	鐵筋コンクリート構造 田邊平學 著	P 二九一三
	東京 二見秀雄共著	
	J 三一六 材料	

2019 0523

材料試験法 山田良之助著 昭和八  
東京 内田老鶴園

J三一七 航空機

航空機材料及化学 荒木鶴雄著 昭和九  
東京 九善株式会社

J三二〇 電気工学

無線科学大系 中上豊吉等合著 昭和八  
東京 無線実験社

第一篇 振動電流及電波

第二篇 真空管

第三篇 送信及送話装置

第四篇 受信及受話装置

第五篇 放送無線電話

第六篇 短波長

第七篇 測定と計算

第八篇 各種無線設備概要

第九篇 機械製作組立及修理

J四〇〇 醫學

血液循環療法講習録 小山善太郎著 昭和六  
東京 血液循環療法研究会

J四八〇 衛生

日本主要食品栄養圖解 糧友會編 昭和八  
東京 糧友會

食品の選擇 早見書 繁富保雄 北山義雄共著 昭和九  
東京 糧友會

K一三〇 心理学

適性考査法 岩田幸一著 昭和七  
東京 三友社

K一四一 倫理學

修養人間の目標 西川光二郎著 昭和八  
東京 春陽堂

K二〇〇 宗教

滿洲國之宗教 濱田本繁著 昭和九  
東京 天沼研究会

新宗教論 隱生居士著 昭和八

K四〇〇 社會

朝鮮同胞の光 熊平源藏編 昭和九  
京城 熊平商店

新日本年中行事講話 高橋楚仙編 昭和九  
東京 大東出版社

K四一一 社會問題

農村問題解決の神髓 石田傳吉著 昭和九  
東京 泰文館

M五二〇 寫眞術

寫眞化學 鈴木庸生著 昭和七  
東京 共立社書店

M五四〇 紀念寫眞帖

横須賀鎮守府所屬上海事變傷痕兵慰安會寫眞帖  
日本橋在郷軍人會編 昭和八

M六三〇 辭書—外國語

英語現代米語小辭典 松村 寛著 昭和五  
東京 タイムス出版社

洋書ノ部

1. ENGLISH BOOKS.

- (A000. War Science-General)  
Groves, P. R. G.-Behind the Smoke Screen. 1933, London, Faber and Faber Ltd. 8614
- (A203. Air Force)  
His Majesty's Stationery Office.-The King's Regulations and Air Council Instructions for the Royal Air Force 1928, with Appendices and Index. 1933, London His Majesty's Stationery Office. 8639
- (B200. Aircraft-General)  
Reid, Elliott G.-Applied Wing Theory. 1932, N. Y., McGraw-Hill Book Co. 8610
- (B400. Engine-General)  
Caunter, C. F.-The Two-Cycle Engine: A General Treatise on the Two-Cycle Engine with Particular Reference to the Diesel, Petrol, Automobile, and Aircraft Forms. 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8631
- (B420 Diesel Engine)  
Goidingham, Arthur H.-High Speed Diesel Engines: Automotive, Aeronautical & Marine, with Full Discussion of the Various Fuel Injection Mechanisms, together with Sectional Views of the Numerous Existing Designs with their Working Parts. 1931, London, E. & F. N. Spon, Ltd. 8616
- Heldt, P. W.-High Speed Diesel Engines: For Automotive, Aeronautical, Marine, Railroad and Industrial use with a Chapter on other Types of Oil Engines. 1932, Philadelphia, P. M. Heldt. 8617
- (B450. Aeroplane Engine)  
Caunter, C. F.-Light Aero Engine: A Practical Manual Describing the Chief Types of Light Aero Engines, and Giving Instructions for their Maintenance, 1930, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8632
- (B450. Internal Combustion Engine)  
Streeter, Robert L. and Lichty, Lester L.-Internal-Combustion Engine: Theory, Analysis and Design a Treatise on Internal-Combustion Engines for Engineers and Students in Engineering 1933, N. Y., McGraw-Hill Book Co. 8618
- (C300. Aeronautic)  
Rohlfing, Charles G.-National Regulation of Aeronautics. 1931, Philadelphia, University of Pennsylvania Press. 8628
- (D100. Nations History)  
8628

2021

- Spendar, J. A. Fifty Years of Europe: A Study in Pre-War Documents. 1933, London, Cassel and Company Ltd. 8626
- (E220. Nation's Problem-General)  
Cole, G. D. H. and Cole, Margaret. The Intelligent Man's Review of Europe To-Day 1933, London, Victor Gollancz Ltd. 8585
- (H010. Industrial Problem)  
Burnham, T. H. Works Management Education with Special Reference to the Case System. 1933, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8599
- Curtis, C. Ralph. Mechanised Accountancy: Being a Review of the Latest Methods of Mechanical Book-Keeping together with a Survey of the Machines Used. 1932, London, Charles Griffin & Co. 8603
- Simpson, H. W. Modern Office Management: The General Principles of Office Organization and Administration and their Practical Application. 1931, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8638
- Whitehead, A. C. Planning, Estimating & Retelining: For Production Engineers and Students. 1933, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8638
- (E220. Year Books)  
& Sons. 8600  
A. and C. Black-Who's Who 1934: An Annual Biographical Dictionary with which is Incorporated "Men and Women of the Time" 1933, London, A. & C. Black. 8589
- Department of Finance-Financial and Economic Annual of Japan (Thirty-Third) 1933, Tokyo, Government Printing Office. 8588
- Grey, C. G. and Bridgman, Leonard-Jane's All the World's Aircraft of 1933, 1933, London, Sampson Low, Marston & Co. 8642
- Kempe, H. R. Engineer's Year-Book of Formulae, Rules, Tables, Data, & Memoranda for 1933-34: A Compendium of the Modern Practice of Civil, Mechanical, Electrical, Marine, Gas, Aero, Mine, & Metallurgical Engineering. 1933, London, Morgan Brothers Ltd. 8593
- Robinson, Charles N. Brassey's Naval and Shipping Annual 1933. 1932, London, William Clowes and Sons Ltd. 8640
- Togo, Shūzō. Japan-Manchoukuo Year Book 1933, Tokyo, Japan-Manchoukuo Year Book

2022

1933

Co.	8586	
(J100. Mathematics-General)		
Pryde, James and Robinson, Walter F.- Chamber's Seven-Figure Mathematical Table: Consisting of Logarithms of Number 1 to 10800 Trigonometrical, Nautical, & other Tables. 1930, London, W. & R. Chambers, Ltd.	8633 to 8637	
(J210. Physics General)		
Ower, E.-The Measurement of Air Flow. 1933, London, Chapman & Hall Ltd.	8598	
(J212 Aerodynamics)		
Younger, John E. and Woods, Baldwin M.- Dynamics of Airplanes and Airplane Struc- tures. 1931, N. Y., John Wiley & Sons.	8671	
(J300. Engineering-General)		
Johnson, J. B. Bryan, C. W. & Turneure, F. E.-Theory and Practice of Modern Framed Structures: Designed for the use of Schools and for Engineer in Professional Practice. Part 1. Stresses in Simple Structures 1931. Part 2. Statistically Indeterminate Structures and Secondary Stresses 1929. Part 3. Design 1916, N. Y., John Wiley and Sons.	8608	
Kidder, Frank E. and Parker, Harry-Ar- chitects' and Builders' Handbook: Data for Architects, Structural Engineers, Contractor, and Draughtsmen. 1931, N. Y., John Wiley & Sons.	8615	
Speller, Frank N.-Corrosion Causes and Pre- vention: An Engineering Problem. 1926, N. Y., McGraw-Hill Book Co.	8611	
Suehiro, Kyoji-Scientific and Technical Pa- pers. 1934, Tokyo, The Suehiro Memorial Committee.	8625	
Timoshenko, S.-Vibration Problem in Enginc- ering. 1928, N. Y., D. Van Nostrand Co.	8623	
West W.-Acoustical Engineering: Theory of Sound and its Applications to Telephone and Architectural Engineering and to Acoustical Measurements and Research A Textbook Engineers. 1932. London, Sir Isaac Pitman & Sons.	8612	
(J310. Mechanical Engineering-General)		
Angie, Glenn D.-Engine Dynamics and Crank- shaft Design 1925, N. Y., Simmons-Boardman Publishing Co.	8622	
Bardke, P.-Technique of Modern Welding 1933, London, Blackie & Son Ltd.	8597	

2023

1111

Morley, Arthur.-Theory of Structures. 1931, London, Longmans, Green and Co. 8629 & 8630	
(J312. Building)	
Creskoff, Jacob J.-Dynamics of Earthquake Resistant Structures. 1934, N. Y., McGraw Hill Book Co. 8610	
Glover, C. W.-Practical Acoustics for the Constructor. 1933, London, Chapman & Hall Ltd. 8624	
Harding, Louis Allen and Arthur Cutts Willard.-Heating, Ventilating and Air Conditioning: A Reference Book for Engineers Architects and Constructors. 1932, N. Y., John Wiley & Sons. 8613	
(J316. Mechanics)	
Industrial Press.-Machinery's Handbook: For Machine Shop and Drafting-Room 1931, N. Y., Industrial Press. 8606	
(J320. Electrical Engineering-General)	
Underhill, Charles R.-Electrons at Work: A Simple and General Treatise on Electronics Devices, and Industrial Uses. 1933, N. Y., McGraw-Hill Book Co. 8602	
Walker, R. C. and Lance, T. M. C.-Photoelectric Cell Application: A Practical Book	
	Describing the uses of Photoelectric Cell in Television, Talking Pictures, Electrical Alarms, Counting Devices, Etc. 1933, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8596
(J340 Automobile)	
Dyke, A. I.-Supplement to Dyke's Automobile and Gasoline Engine Encyclopedia: Treating Carburetors, Gasoline Fuel-Feed System, Air Cleaners, Supercharger, Ricardo Cylinder Head, Engine Bearings. 1932, Chicago, The Good-heart-Willcox Co. 8627	
(K101. Psychology)	
Welch, Henry J. and Miles, George H.-Industrial Psychology in Practice. 1932, London, Sir Isaac Pitman & Sons. 8601	
(L202. Language-English)	
Mitchell, Michael D. & Sagara Tasukura.-A Comparative Study of English and American. 1931, Tokyo, Kaibunsha. 8594	
(M500. Dictionary-General)	
Fowler, F. G. and Fowler, H. W.-Pocket Oxford Dictionary of Current English 1931, Oxford, At the Clarendon Press. 8591	
Fowler, H. W.-A Dictionary of Modern English Usage. 1930, Oxford, At the Clarendon Press.	

2024 4199

don Press, Jones, Daniel W. A.-An English Pronoun- ing Dictionary. (Showing the Pronuncia- tion of over 50,000 Words in International Phonetic Transcription) 1932, London, J. M. Dent & Sons Ltd.	8592	8590	2. Deutsche Bücher	2018
(X000. Die Kriegeswissenschaft) Benary, D.-Rüstungs-Fibel. Berlin, Offen Worte.	2011	2016	Header, W.-Die Berechnung Eines Fahrzeug- Diesel-Motors: Mit Luftloser Einspritzung Einschl. Sämtlicher Hilfsapparate Handbuch für Studium und Praxis. 1930, Berlin, Ri- ehard Carl Schmidt & Co.	2015
Fischmann, J.-Der Kriegsschemische Dienst im der Roten Armee: Snsung aus dem Werke Kriegsschemie. 1933, München, Zeitschrift für das dem gesants Schietz-u. Spengstof- fwesen.	2013	2016	Ernst & Sohn.	2016
Nagel, Alfred G.-Vier Kreuzer "Leipzig" (Geschichte Deutscher Kriegsschiffe Band 10) Berlin, Der Illustrierten Zeitschrift "Die Reichsmarine"	2012	2018	Hütte-E. V. "Hütte" Des Ingenieurs Tas- chenbuch. Band 1.-4. 1928, Berlin, Wilhelm	2018
Zangger, H.-Die Casschutzfrage. 1932, Bern, Hans Huber.	2008	2016	Header, W.-Die Berechnung Eines Fahrzeug- Diesel-Motors: Mit Luftloser Einspritzung Einschl. Sämtlicher Hilfsapparate Handbuch für Studium und Praxis. 1930, Berlin, Ri- ehard Carl Schmidt & Co.	2015
(X100. Die Militärische Miscellen) Knöfel, Gesoetchsmaler.-Uniformfibel. 1933, Berlin, Offene Worte.	2017	2018	Ernst & Sohn.	2016
(X600. Die Wissenschaft)		2018	Hütte-E. V. "Hütte" Des Ingenieurs Tas- chenbuch. Band 1.-4. 1928, Berlin, Wilhelm	2018

2025 ~~2018~~